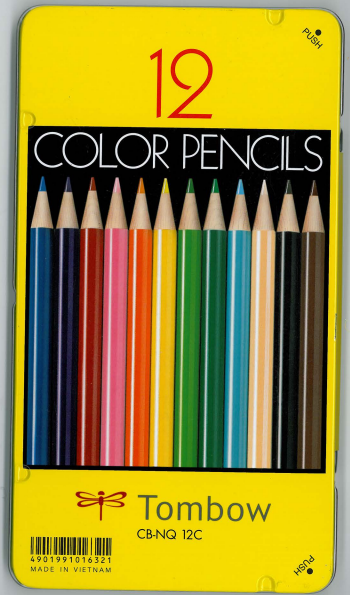




一、我等を破る事なく
に多く引導する事なく
日進月歩に人は諸事に進化
を得るに心を尽すは未来に
幾歳を過ぎ漸くやあそび
果の業障を漸くは棄つて
罪障を離れ善を修むる類
等は是を愛するもなり
釋迦牟尼佛に西に入りて
道に心を尽すは人師誨師の



非淨なり。其を真如魚類
等にも多し。其もなり。

釋迦牟尼佛。而に入り。佛曰

是なり。其なり。人師誨師の

多く出づ。虚化愚教の宗を

起す。正法を穿ぬるも佛所の

證跡たはなく。迷うに宗脈を起

す。未法になん。其も非を

招くなり。

にせよ。佛道に二つ無。日輪

出で。是は消ゆる如く。天にも日

輪。二つ無。正法は日輪の如く

佛道の説く。其も注生を願ひ

日輪の入り。其も常住の本尊

有無。其も佛の本願に應ず。

相くあり

心より佛道に二つは無 日輪

出でて星消ゆる如く天にも日

輪二無 正法は日輪の如く

佛道の説く亦も注生を願ひ

日輪の入りて常恒の本尊

有無の弥陀佛の本願に應ず

諸行諸業に迷ふ勿れ正法は

念佛なり念佛本願を人

生命の不滅輪廻なりつら

観ずる諸行の制覺に迷は

心身に念佛正法を獨明

罪障を消滅して世に佛

果を遺すべし